

か も し せ い ぶ
加茂市西部地区
(新潟県加茂市)

- 計 画 期 間 平成 20 年度～平成 24 年度
- 面 積 915 h a
- 交付対象事業費 251.1 百万円
- 市人口 27,510 人 (地区内人口約 17,500 人)

ポイント

地域住民が安心に、安心して、快適に暮らせる魅力あるまちづくり

地区概要

平坦で南北に大河信濃川が縦貫し、市街地から一級河川加茂川、下条川が注ぎ、河川沿いに発展してきた集落を含む新市街地域及びこれに隣接する市街地域である。新市街地の中心部は、加茂川河川改修事業に伴う移転地確保による土地区画整理事業等により生活環境及び都市基盤整備が備わっている。その周辺地域は、公共施設、大型店舗、工場等が立地する地域で、交通量の増大等に伴い安全なアクセス道路等の都市基盤の整備が課題となっている。

目 標

道路、公園等の都市基盤整備と地域防災マップの作成等により、災害時での避難や防災活動に対して迅速に対応するとともに、快適に暮らせるまちづくりを行う。

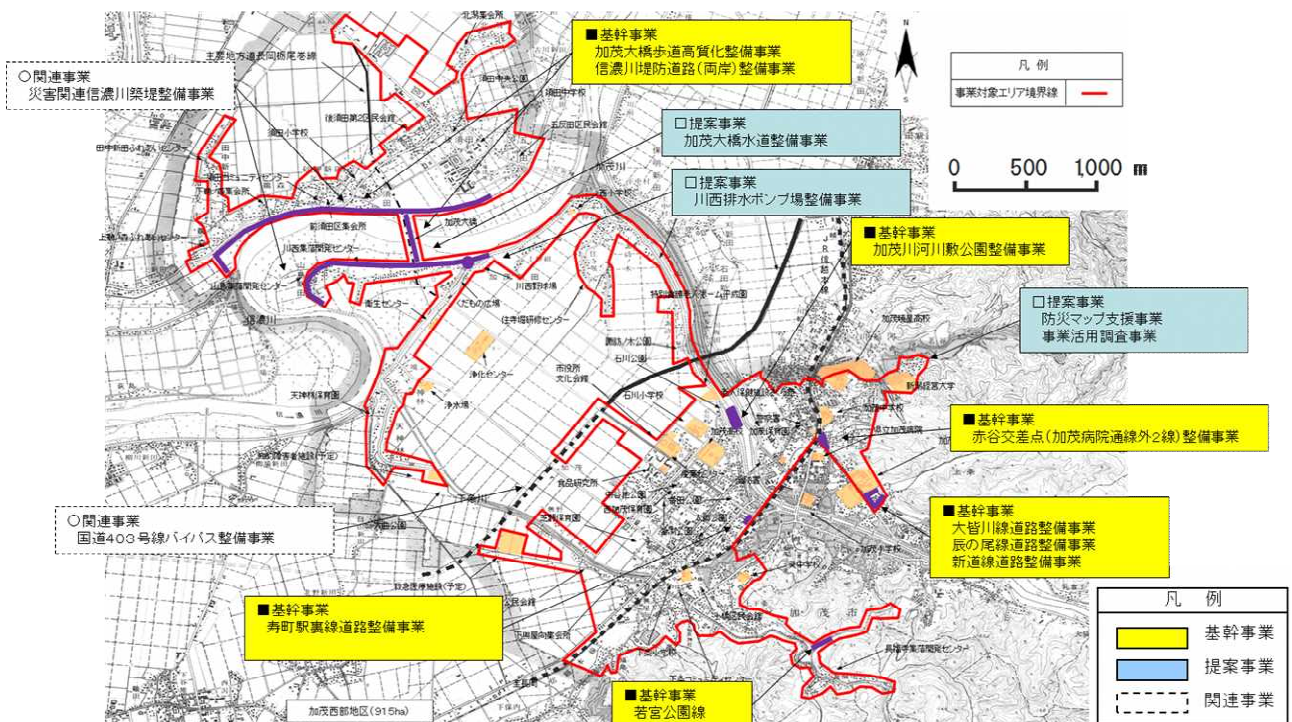
指 標

- ①災害時、迅速に対応できるアクセス道路等の整備
- ②災害時、地域住民が迅速に対応できる防災マップの整備
- ③地域住民が快適に暮らすための道路、公園等整備

避難路認知度	0% (H19)	→	78.3% (H25)
大皆川線、辰の尾線の道路交通量	160 台/日 (H19)	→	1,231 台/日 (H25)
加茂大橋の道路交通量	0 台/日 (H19)	→	6,504 台/日 (H25)
加茂大橋の歩行者数(観光客を含む)	0 台/日 (H19)	→	73 台/日 (H26)

事業内容

- 基幹事業 (228.2 百万円) → 地方道路整備 (7 路線 幅員 4.5~14.0m 延長 5,278m)、歩道高質化(親柱、中間柱、高欄、バルコニー 2ヶ所)、公園整備 (1ヶ所 6,100 m²)、交差点改良 (2ヶ所)
- 提案事業 (22.9 百万円) → 水道整備 (φ250mm)、排水ポンプ場整備 (除塵機 1 基)、防災マップ支援 1 式、事業活用調査 1 式



地区の現況と課題

本地区は、集落を含む新市街地域及びこれに隣接する市街地域である。本地区の新市街地は、昭和42、44年の大水害を契機に加茂川河川改修事業に伴う移転地確保による土地区画整理事業等により生活環境及び都市基盤整備が備わっている。その周辺地域は、市役所、文化会館、産業センター、特別養護老人ホーム、市営・県営住宅等公共施設の他に、大型店舗、工場等が立地する地域で交通量の増大等に伴いアクセス道路等の都市基盤の整備が課題となっている。新市街地域に隣接する市街地域においても、同様のことが課題となっている。

また、これらの背景を踏まえ、近年の大規模災害に対応すべく、災害に強いまちづくりが喫緊の課題となっている。



加茂大橋施工状況

提案事業の特徴

加茂大橋水道整備

既存の水道配水管施設のネットワーク化を行い、災害時に対応するインフラ整備により、リスクを分散させる。

防災マップ支援事業

災害発生時、迅速、安全かつ適切に避難誘導の対応が図られるよう、また、地域住民の日常的な防災意識を向上させるために、防災マップを作成した。



親柱、中間柱、高欄のグレードアップ及びバルコニーの設置（市負担）施工状況

計画策定プロセス

信濃川周辺地域は、平坦で農・工・住の点在した優良な農工地域である。近年の地球温暖化に伴う異常気象などにより、集中的な豪雨など様々な災害が頻繁に発生し、市民生活に大きな不安を与えている。このため防災に強い地域づくりを目指し、安全で安心して暮らせる魅力ある快適な生活環境を整えることが必要とされ、地域住民が災害時に迅速に避難できる地域防災マップの整備が必要となっている。

現在、国土交通省北陸地方整備局では、水害から人命、財産等を守るため信濃川堤防補強工事を急ピッチに進めている。新潟県は、この補強工事に併せ一級河川加茂川、下条川の堤防嵩上げ補強工事を平成21年度から着手する。当市においてもこの堤防補強工事に併せ関連公共施設等の整備を進め、防災に強いまちづくりを目指している。



水道配水管のネットワーク化(提案事業)



加茂川河川敷公園整備イメージ（上流部の既設区間・市民による清掃活動のようす）